

平成26年度事務事業評価調書

整理番号	27	枝番	1
評価担当課	市立大学事務局総務課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	道北地域研究所の運営			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
	無	主要施策	5	大学教育の充実
		基本事業	3	地域との連携
		実施計画事業	1	道北地域研究所活動推進事業

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	名寄市立大学教員と有機的な関係を維持しつつ、北海道、とくに道北地域における保健・医療・福祉・教育・文化の充実・発展及び産業の振興に寄与する研究を行う。(名寄市立大学道北地域研究所規程第3条)			
対象(何を又は誰を)	道北地域における地域課題に関する研究の推進、産学連携の推進、委託研究の受入・実施ほか			
手段=活動(仕事) (どのような方法で)	名寄市立大学教員及び学外の研究員による諸課題の研究、公開講座等の開催ほか			
意図(どのような成果を期待しているか)	道北地域における保健・医療・福祉・教育・文化の充実・発展及び産業の振興			
事業実施主体	名寄市(名寄市立大学、名寄市立大学短期大学部)			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	1982年度	終期設定	有(終期年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市立大学学則、名寄市立大学短期大学部学則、名寄市立大学道北地域研究所規程			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H23	H24	H25	H26見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 地域シンポジウムの開催	回	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1		
	2 市民公開講座の開催	回	目標	3	3	3	3	
			実績	3	3	2		
	3		目標					
			実績					
成果指標	1 研究所年報「地域と住民」の発行	回	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1		
	2 公開講座の参加人数	人	目標	150	150	150	150	
			実績	346	122	62		

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H23決算	H24決算	H25決算	H26予算	平成25年度の事業費内訳	
事業費	4,233	4,153	3,129	4,505	研究所運営事業費 2,998	
国道支出金					特別研究事業費 131 正規職員配置なしのため、人件費を計上していません。	
地方債						
その他						
一般財源	4,233	4,153	3,129	4,505		
人件費	0	0	0	0		
平均給与額	6,683	6,629	6,468	6,468		
担当職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
総事業費	4,233	4,153	3,129	4,505		
対前年比(%)	—	98	75	144	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1		88	150	指標1、2ともに名寄市一般会計からの支出額を計上	
	活動指標2	313	228	33	250	北星信金等協力団体からの支出は除いています
	活動指標3					

※H26年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	地域の過疎化、産業構造の変化(一次産業従事者の減)等
改善点	指摘事項 有 () 無 (○)

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 4 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	名寄市立大学学則第8条及び名寄市立大学短期大学部学則第37条の3に基づく設置。
有効性 4 目的を達成するための方法として有効か？	a	研究の成果は道北地域研究所年報「地域と住民」の発行で、地域に公表されている。
効率性 4 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	所長は名寄市立大学教授が兼任で務めており、運営事務補助として嘱託職員1名を配置してきた。
公平性 4 受益者負担は適正か、受益者に偏りがなにか？	a	事業内容の性質上、受益者負担は求めておらず、講座等の参加制限もしていない。
達成度 4 活動指標、成果指標の達成度は？	a	地域シンポジウム・公開講座の開催、年報の発行等適切に実施されている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	道北地域研究所は名寄市立大学学則第8条及び名寄市立大学短期大学部学則第37条の3に基づく設置であり、適切に運営されている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価に相違なし。さらに効果的なPRを期待。

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり